

せがわ京染店

# 銀河夢小紋ハンカチ



1枚1枚手作業で染める「銀河夢小紋ハンカチ」。染め物ならではの色使いが、宮沢賢治の描く幻想的な空間と見事に調和している。  
1枚 1,620円(税込)



(写真・上)「せがわ京染店」五代目で、「銀河夢小紋ハンカチ」を発売した瀬川卓哉さん。  
(写真・右上)CDジャケットに染色を用いるという新たな試みに挑戦した、「\*はなとおと\*」のアルバム「ひといきみち」と、右隣は「銀河夢小紋ハンカチ」。同作品は、瀬川さんの記念すべき第一作。  
(写真・右下)「オリジナルの染ができるきもの屋」として「染め物」と「きもの」の2足のわらじをはくせがわ京染店。きの和装学苑認定師範教室でもあり、前結びの着付け教室も行っている。



## ハンカチにはもったいない

## 幻想的な世界が広がる花巻土産

柔らかな濃淡で描かれた宇宙に、キラキラと輝く星々。その中を走る列車、あるいは、よだか。宮沢賢治の作品「銀河鉄道の夜」や「よだかの星」の世界が、縦43cm×横43cmの布いっぱい広がる。

商品の名は、「銀河夢小紋ハンカチ」。ネーミングはハンカチだが、色彩の鮮やかさと、世界観の見事な表現力から、掛け軸や額に飾ってインテリアとして活用している人が多い。口コミで評判が広がり、最近では県外客への岩手・花巻土産として購入する人も増えている。

「銀河夢小紋ハンカチ」を考案したのは、染め職人の瀬川卓哉さん。明治33年創業の「せがわ京染店」五代目だ。同店は創業当初染工場であったが、昭和43年、四代目が染め物だけではなく着物の分野にも力を入れ、着物染めや仕入れ販売も始める。

後継する卓哉さんは、染めの技術を本格的に学ぶべく、大学卒業後に染めの本場、京都へ。だが、京都の染め物は分業制がほとんど。染織の基礎は学ぶことができたが、技術全般を吸収したい。卓哉さんは一貫して作業できる職場を探す。そこで出会ったのが、「染めの風雲児」と呼ばれ、染め業界に新風を吹き込んだ染色作家、奥田祐齋氏だった。卓哉さんは奥田氏に師事し存分に腕を磨く。

昭和63年、卓哉さんは花巻に帰郷。五代目として店に立つにあたり、新たな看板商品をつくりたいと思った。奥田氏から学んだ

染めの技術を活かして、さらには地元になんだものといったら。思いを巡らし、誕生したのが「銀河夢小紋ハンカチ」だった。このハンカチは、手作業で染めるため1枚1枚模様が異なる。購入者にとっては自分だけの模様であり、その特別感が嬉しい。平成22年には全国推奨観光土産品審査会で「日本商工会議所会頭賞」を受賞した。

最近ではCDジャケットの染色にも挑戦した。同店でライブを開いていた花巻出身の男女二人組デュオ「\*はなとおと\*」がぜひお願いしたいとリクエスト。山へと続く道のデザインラフをふわりと染め上げた。

染めを通して幻想的な世界をみせてくれる卓哉さん。「宮沢賢治は『音楽を聞くと色彩が見えてくる』という言葉を残していますが、色彩から音楽が聞こえてくるような作品を作りたい。宮沢賢治の作品がモチーフではありませんが、そこに縛られず自由にイメージを膨らませていきたい」。

想像の羽を広げ、卓哉さんはこれからも自由に、そして奏でるように染め続ける。



### せがわ京染店

〒025-0086  
岩手県花巻市鍛冶町6-1  
TEL 0198-24-4333  
<http://www.10.plala.or.jp/yumeiro/>